

事務事業マネジメントシート(令和 5年度実績と令和 6年度計画)

令和 6年 7月29日更新

事務事業名	監査事務事業		<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	1 自治の健康	所属部	監査委員事務局	課長名	右田 純司
	施策	2 行政改革の推進	所属課	監査委員事務局	担当者名	西寫 文江
	施策の柱	9 評価機能の確保	所属班	監査委員事務局	(内線)	5402
予算科目	会計一般	款 2	項 6	目 1	事業連番 11808	根拠法令 地方自治法、合志市監査委員に関する条例、地方公営企業法ほか
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 5年度で終了 <input type="checkbox"/> 5年度から開始		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	地方自治法第195条その他の規定により監査委員が法令に基づき行う例月出納検査、決算審査、財政健全化・経営健全化審査、定期監査、財政援助団体等監査などの監査等を、効率的かつ効果的に実施できるよう補助するとともに、その結果を公表し市民に周知する。令和5年度より①監査委員会等参画事業(事業番号11178)、②監査計画策定事務(事業番号11179)、③決算審査事務(事業番号11180)、④財政援助団体等監査事務(事業番号11181)、⑤定期監査事務(事業番号11182)、⑥例月出納検査事務(事業番号11183)を本事業へ統合した。
【業務の流れ】	①監査方針及び年間監査計画の作成 ②審査・監査・検査の実施通知 ③審査・監査・検査の実施(資料の徴収、説明の聴取、書類の閲覧等) ④意見書・報告書提出、結果報告 ⑤公表 ○監査委員への報酬及び費用弁償の支給 ○委員及び事務局職員の研修参加
【主な予算費目】	報酬、職員手当等、旅費、需用費、負担金補助及び交付金
【意見や要望】	議会から行政の監視機能としての監査の役割を果たすよう求められている。

1 現状把握の部 (DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分: 新規
① 手段(主な活動) 5年度実績(5年度に行った主な活動)(DO)	6年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)	
監査委員に年報酬(議員監査委員972,000円、議運監査委員416,838円)を支出した。また、年間を通した例月出納検査・決算審査・定期監査等出席費用弁償として、計14回分250,800円を支出した。その他総会等出席については、5月熊本県都市監査委員会定期総会・合同研修会(人吉市)、7月九州各市監査委員会定期総会及び同監査事務局局長会定期総会(雲崎県宮崎市)、8月全国都市監査委員会定期総会・研修会(秋田県秋田市)、2月NOMA研修(福岡県福岡市)及び城北6市監査委員事務局連絡協議会(荒尾市)に参加し、評価するための能力向上に努めた。 例月出納検査(毎月2日間)、決算審査(6/30~8/16)、財政健全化審査(8/31)、財政援助団体等監査(12/8~12)、定期監査(10/27~10/2/16)を実施し、市の事務事業及び財政状況等について審査し、概ね適正に執行されていることを認めた。	4月熊本県都市監査委員会定期総会・合同研修会(八代市)、5月九州各市監査委員会定期総会及び同監査事務局局長会定期総会(鹿児島市)11月西日本都市監査事務局研修会(広島県呉市)、3月城北6市監査委員事務局連絡協議会(山鹿市)に参加予定。例月出納検査(毎月)、決算審査、財政健全化審査、財政援助団体等監査、定期監査等を実施予定。	
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 人	予算の主な増減の理由
ア: 研修会等参加監査委員数(延べ)	人	研修会等の開催地までの旅費の減
イ: 審査・監査・検査等の実施日数	日	
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等		② 対象指標(対象の大きさを表す指標)
市、水道事業、財政援助団体等		ア: 対象としている会計数
		イ: 対象としている基金の数
		(単位) 会計
		基金
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)
事実の客観的認証をし、事務の効率化と公正を確保し、法令遵守の徹底を図る。		ア: 例月出納検査における指摘事項件数
		イ: 審査・監査等における指摘事項件数
		(単位) 件
		件
*③成果指標設定の理由と6年度目標値設定の根拠		総トータルコスト
指摘すべき事項等を見出し、是正・改善することが正確性、効率性の確保につながると考え、成果指標を設定した。目標値は、実績を踏まえ設定する。		全体計画
		~ 年度
		0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	3年度実績(決算)	4年度実績(決算)	5年度目標(当初予算)	5年度実績(決算)	6年度目標(当初予算)	7年度予定	8年度見込	9年度見込	
① 活動指標	人		0	0	8	6	6	8	6	8	
	日		0	0	63	62	63	63	63	63	
② 対象指標	会計		0	0	9	9	9	9	9	9	
	基金		0	0	12	12	13	13	13	13	
③ 成果指標	件		0	0	36	20	36	36	36	36	
	件		0	0	15	10	15	15	15	15	
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円								
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円								
		繰入金	千円								
	一般財源		千円			2,549	2,057	2,061	2,074	2,239	2,239
	(A) 事業費計		千円	0	0	2,549	2,057	2,061	2,074	2,239	2,239
	(A)のうち指定経費		千円	0	0	0	0	0	1,499	1,505	1,505
	(A)のうち時間外、特動		千円	0	0	0	0	0	47	47	47
	正規職員従事人数		人	0	0	288	155	288	288	288	288
延べ業務時間		時間	0	0	15,564	14,148.5	15,564	15,564	15,564	15,564	
(B) 人件費計		千円	0	0	62,006	51,528	62,006	62,006	62,006	62,006	
トータルコスト(A)+(B)		千円	0	0	64,555	53,585	64,067	64,080	64,245	64,245	

事務事業名	監査事務事業	所属部	監査委員事務局	所属課	監査委員事務局
-------	--------	-----	---------	-----	---------

2 評価の部 (CHECK)

*原則は5年度の事後評価、ただし複数年度事業は5年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	① 5年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】
	② 6年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 研修については、新たに必要な情報の収集や知識の習得が見込め、指摘事項等については、これまでの指摘事項等を踏まえ審査・監査・検査を実施し、改善を促すことで目標達成の見込みがある。
有効性評価	③ 成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 審査・監査・検査の結果を受けて、各部署が適切に改善していくことで目標達成の見込みがある。そのためにも研修等で得た知識や情報を監査に生かしていく必要がある。
	④ 類似事業との統廃合・連携の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 令和5年度から6つの事業を監査事務事業に統合した。
効率性評価	⑤ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 人件費を初め、意見書や報告書等の作成に係る経費、監査技術の向上、知識の習得のための研修費等旅費等は必要不可欠な経費であるため、事業費の削減は難しい。
	⑥ 人件費 (延べ業務時間) の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 決算審査・定期監査・例月出納検査ともに期日が定められているため、業務時間の削減はできない。
公平性評価	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 監査 (審査) は、住民の福祉の増進と組織及び運営の合理化に努める財務に関する事務の執行等に対して行うものであり、公平・公正である。
役割分担評価	⑧ 行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 審査等は監査委員がすると定められているので、役割分担は適正である。

3 評価結果の総括 (CHECK)

決算審査においては、決算、基金の運用状況、政健全化判断比率等について審査し、計数はそれぞれの関係諸帳簿及び証憑書類と照合した結果、正確であり、予算執行についても概ね適正であると確認することができた。定期監査においては、いくつかの課題が判明したため同報告書で報告したが、令和5年度の予算については、概ね適正に執行されていると確認することができた。例月出納検査においても、概ね適正に処理されていることを確認できた。

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

<p>(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (有効性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (公平性改善)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策</p>																						